

共催：全妊ネット、浜松市助産師会

全国妊娠SOSネットワーク 妊娠SOS相談対応パッケージ研修 ～アドバンス編～



妊娠期の支援の在り方は、産後のその女性の生き方に大きな影響を与えます。貧困や社会的孤立、家庭内の複雑な事情などから思いがけない妊娠に至るケースも多い中、女性の背景や心理を充分理解しつつ寄り添い、確実に支援につなぐことが求められます。今回のセミナーでは、より具体的なテーマを設け、思いがけない妊娠に悩む女性の背景や心理について事例検討を交えて学びます。

日時

2017年10月7日（土）

10：00～16：30（受付 9：30～）

*昼食は各自でご用意ください

会場

アクトシティ浜松 研修交流センター51研修室
（浜松市中区中央3-9-1）

参加費

浜松市助産師会会員：無料

非会員：3000円（税込）

*参加条件：基礎編受講者または基礎編受講予定者
（医療・保健・福祉関係者等）

*研修当日「妊娠SOS相談対応ガイドブック（改訂版）」
（税込み1,000円）購入可能です。

講師 内容

1. 性風俗 講師：坂爪真吾さん
（一般社団法人ホワイトハンズ代表）
内容：風俗福祉、性風俗と規制の歴史 他
2. 若年妊娠 講師：伊藤加奈子産婦人科医師
（ココカラウィメンズクリニック院長）
内容：若年妊娠の背景、女子の学業継続の課題 他

<申し込み・問合せ先>

浜松市助産師会 成岡千恵子

E-mail：c_naruoka@cream.plala.or.jp

電話：090-7305-2852

申し込み内容：氏名、所属、職種、連絡先

Supported by
**日本
財団**
THE NIPPON
FOUNDATION

全国妊娠 SOS ネットワーク

妊娠 SOS 相談対応パッケージ研修～アドバンス編～

厚生労働省の虐待死亡事例等の検証報告第 12 次報告では 0 か月の虐待死事例 15 件のすべてが 0 日目の死亡であり、うち 14 件は未受診、12 件は母子健康手帳未発行でした。これらの対応として妊娠 SOS 相談の役割は大きく、0 日目の虐待死予防のカギを握ると言っても過言ではありません。

前回三重県で妊娠 SOS 相談員のための研修（一般社団法人全国妊娠 SOS ネットワークのパッケージ研修「基礎編」）を 3 月 17 日に津で開催したところ、県内各地の行政機関、教育機関、職能団体、民間団体等より多くのご参加をいただきました。今回その参加者からの要望も多かったパッケージ研修「アドバンス編」を開催させていただくことになりました。この機会にぜひご受講ください。

日時	平成 29 年 9 月 8 日金曜日 10 時 00 分～16 時 30 分
会場	三重県津庁舎 本館 6 階 大会議室 住所 津市桜橋 3 丁目 4 4 6-3 4 アクセス http://www.pref.mie.lg.jp/chizu/ttyosha.htm ※類似する会場名もありますのでくれぐれもご注意ください。
研修内容	① 妊娠葛藤相談の法的対応（貧困・生活保護他） 講師：弁護士 馬場啓丞氏
講師	② 性風俗（女性の心理や背景、性風俗の歴史他） 講師：一般社団法人ホワイトハンズ代表 坂爪真吾氏
	③ 事例検討（貧困と性風俗）
参加費	無料
参加資格	全国妊娠 SOS ネットワークパッケージ研修基礎編修了者 もしくは基礎編受講予定者（医療・保健・教育・福祉関係者等）
締め切り	8 月 31 日（木）締め切り
その他	・ 遅刻、早退厳禁 ・ 昼食は各自でご持参ください。 ・ 基礎編受講済者は「妊娠 SOS 相談対応ガイドブック」を御持参ください

〈問い合わせ先〉

★特定非営利活動法人 MC サポートセンターみっくみえ 担当：山下・太田
TEL：0594-21-4935 Email：fcmatsu@lily.ocn.ne.jp

★三重県健康福祉部 子ども・家庭局子育て支援課母子保健班 担当：奥山
TEL：059-224-2248

※申込書は裏面

研 修 参 加 申 込 書

9月8日(金)開催の

妊娠 SOS 相談対応パッケージ研修～アドバンス編～

に参加申し込みをします。

所属 _____

氏名 _____

職種 _____

連絡先 _____

基礎編受講 済 ・ 未 _____

所属	氏名	職種	基礎編受講
			済 ・ 未
			済 ・ 未
			済 ・ 未
			済 ・ 未
			済 ・ 未

※基礎編受講についてはいずれかに○をつけてください

FAX 送信先 : 0594 (22) 9835

E-mail : fcmatsu@lily.ocn.ne.jp

申し込み締め切り : 平成 29 年 8 月 31 日(木)



妊娠SOS相談対応パッケージ研修（基礎編）

県では、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援の体制整備の推進のために、思いがけない妊娠の相談対応研修を開催します。

支援の必要な妊婦や児童虐待の背景に、思いがけない妊娠がありますが、その相談では、貧困や家庭不和による孤立、生まれてくる子どもの養育ができないなど、妊娠に関する保健医療の知識だけでなく、社会福祉や児童福祉制度などの幅広い知識や他機関との連携が必要です。

研修会では、思いがけない妊娠に悩む女性への相談対応のスキルやその女性が抱える背景や課題、支援に活用できる福祉制度など、すぐに役立つ内容が学べます。

講師（全国妊娠SOSネットワーク理事）

田尻 由貴子氏：スタディライフ熊本特別顧問、にんしんSOS 東京顧問、助産師

松岡 典子氏：MCサポートセンターみくみえ代表、桜花学園大学保育学部非常勤講師、助産師

赤尾さく美氏：（一社）ヘアホープ理事、助産師

（外部講師）光岡 清隆氏：社会福祉法人聖母の騎士会 母子生活支援施設いつくしみの苑施設長



内容

- 1 思いがけない妊娠に悩む女性への専門的対応・相談員の質の向上
- 2 緊急出産について
- 3 相談者の抱える背景と課題
- 4 地域の連携機関から学ぶ女性の福祉
- 5 育てられない女性と子どもの福祉

日時：平成29年8月1日（火）9：30～17：00（受付9：00～）

会場：佐賀県総合看護学院 多目的ホール（佐賀市兵庫南3-7-17）

対象者：保健・医療・福祉・教育関係機関の職員 約80名（先着順）

受講料：無料

申込み・お問い合わせ：

平成29年7月25日（火）までに、裏面の申込書に記入し、メール・FAX・郵送にて 担当あてお申込みください。

（担当）佐賀県男女参画・こども局 こども家庭課 母子保健担当

〒840-8570 佐賀市城内1丁目1番59号

TEL 0952-25-7056 FAX 0952-25-7300

E-mail：kodomo-katei@pref.saga.lg.jp

○遅刻、早退がありませんようご注意ください。終了後は受講証をお渡しします。

○駐車場は、学院裏の運動場を利用できますが、限りがあります。なるべく乗り合わせてご参加ください。

○昼食は、各自ご準備ください。



主催：佐賀県 共催：全国妊娠SOSネットワーク 助成：日本財団



【申込用紙】

FAX 送信先：0952-25-7300 佐賀県こども家庭課 母子保健担当あて

E-mail : kodomo-katei@pref.saga.lg.jp

申込み締切：平成29年7月25日（火）

研 修 参 加 申 込 書

8月1日（火）開催の「妊娠SOS相談対応研修会」に参加申し込みをします。

所 属 _____

氏 名 _____

連絡先電話番号 _____

【参加者】

所 属	職 種	氏 名

※ いただいた個人情報については、当事業の事務のみに使用し適切に処理します。



妊娠SOS相談対応パッケージ研修 アドバンス編

妊娠期の支援の在り方は、産後のその女性の生き方に大きな影響を与えます。貧困や社会的孤立、家庭内の複雑な事情などから思いがけない妊娠に至るケースも多い中、女性の背景や心理を充分理解しつつ寄り添い、確実に支援につなぐことが求められます。

今回のセミナーでは、より具体的なテーマを設け、思いがけない妊娠に悩む女性の背景や心理について事例検討を交えて学びます。

日時：2017年**12月16日**（土） 10:00～16:30（受付9:30～）

会場：岡山きらめきプラザ3階301会議室（岡山市北区南方2丁目13-1 TEL.086-227-2666）

対象者：妊娠SOS相談対応パッケージ研修基礎編修了者、もしくは基礎編受講予定者
※医療・保健教育・教育・福祉関係者等

定員：50名（定員に達した場合、参加をお断りする場合があります）

参加費：会員2,000円（当日支払い） 非会員3,000円

※非会員の方は振り込みになります。お申し込み後に振込先を連絡します。

妊娠SOS相談対応パッケージ研修 ～アドバンス編～

テーマ：①妊娠葛藤相談の法的対応
（貧困/生活保護 他）

講師：加来典子弁護士 岡山県
弁護士法人 後楽総合法律事務所

テーマ：②若年妊娠
（若年妊娠の背景/
女子の学業継続の課題 他）

講師：丹羽咲江先生 愛知県
咲江レディースクリニック院長

【お知らせ】

- ・遅刻、早退厳禁
- ・昼食は各自でご持参ください
- ・「妊娠SOS相談対応ガイドブック」をお持ちの方はご持参ください
- ・研修会場で税込み1000円で改訂版を購入可能です（通常価格2000円）
- ・助産師会員は2ポイント付きます

申込・問い合わせ：岡山県助産師会 担当（長谷川 喜久美）

携帯：090-1765-6649 FAX：086-421-7533

E-mail：kiku.hase@wine.ocn.ne.jp

※氏名、所属、職種、連絡先を明記の上、
電話・FAX・メールのいずれかでお申し込みください。



全国妊娠SOSネットワーク 妊娠SOS相談対応パッケージ研修（基礎編）

県では、出産前後からの妊娠葛藤を抱える保護者を早期に把握し、支援に繋げ、保護者が抱える子育てにおける孤立感や不安感を解消していただくことが、乳幼児の児童虐待死等の未然防止に必要な取組みであると考えております。そのため本年度の児童虐待防止対策における新たな取組として、特定妊婦等の妊娠期にある女性や家庭状況について理解を深め、適切な相談支援と社会資源の活用を行うことができる手法を学ぶ専門研修を、下記のとおり開催します。**また別日程で、基礎編受講者を対象にアドバンス編も開催します（原則、両日程のご参加をお願いします）。**

◆基礎編 研修講師

- 佐藤 拓代 氏（全国妊娠SOSネットワーク代表理事）
大阪府立病院機構大阪母子医療センター母子保健調査室長、医師
- 松岡 典子 氏（全国妊娠SOSネットワーク理事）
MCサポートセンターみっくみえ代表、桜花学園大学保育学部非常勤講師、助産師
- 赤尾 さく美 氏（全国妊娠SOSネットワーク理事）
一般社団法人ベアホープ理事、助産師
- 山本 直子 氏（外部講師）
母子生活支援施設ヒューマン かつらぎ 個別対応職員・相談員
- 上中 ふみ代 氏（外部講師）
母子生活支援施設ヒューマン かつらぎ 主任・保育士・相談員

◆研修内容

- ・思いがけない妊娠に悩む女性への専門的対応・相談員の質の向上
- ・妊娠SOS相談の現状と傾向
- ・相談者の抱える背景と課題
- ・地域の連携機関から学ぶ女性の福祉
- ・育てられない女性と子どもの福祉



- 日 時：平成30年2月27日（火） 9時30分～16時30分
- 会 場：やまと会議室 3階 大会議室（奈良市登大路町36番地 近鉄奈良駅から徒歩3分）
- 対象者：市町村児童福祉担当課職員、児童相談所職員、保健師、助産師等
思いがけない妊娠等を理由に悩んでいる女性や家族と関わる機会のある職員
- 定 員：50名（別日程のアドバンス編も参加可能な方を優先します）
- 参加料：無料
 - ・遅刻や早退がないようご注意ください。終了後は受講証をお渡し致します。
 - ・会場では駐車場は設けておりませんので、公共交通機関等をご利用ください。
 - ・昼食は各自でご用意ください。



申し込み・お問い合わせ

- 平成30年2月14日（水）までに、別紙申込書に記入し、下記のFAXまたはメールにて担当までお申し込みください。
- 奈良県健康福祉部こども・女性局こども家庭課 児童虐待対策係 担当：平野
電話：0742-27-8605 FAX：0742-27-8107
メールアドレス：hirano-masanori@office.pref.nara.lg.jp



全国妊娠SOSネットワーク 妊娠SOS相談対応パッケージ研修(アドバンス編)

県では、出産前後からの妊娠葛藤を抱える保護者を早期に把握し、支援に繋げ、保護者が抱える子育てにおける孤立感や不安感を解消していただくことが、乳幼児の児童虐待死等の未然防止に必要な取組みであると考えております。そのため本年度の児童虐待防止対策における新たな取組として、特定妊婦等の妊娠期にある女性や家庭状況について理解を深め、適切な相談支援と社会資源の活用を行うことができる手法を学ぶ専門研修を、下記のとおり開催致します。なお本アドバンス編は、本年2月27日（火）に開催した基礎編の受講者を対象とさせていただきます。

◆アドバンス編 研修講師

- ロング 朋子 氏（担当：特別養子縁組）
一般社団法人ベアホープ代表理事、社会福祉士、東京都養育家庭の会理事
- 丹羽 咲江 氏（担当：若年妊娠）
咲江レディスクリニック院長（名古屋市）
- 松岡 典子 氏（ファシリテーター）
MCサポートセンターみくみえ代表、桜花学園大学保育学部非常勤講師、助産師
- 赤尾 さく美 氏（ファシリテーター）
一般社団法人ベアホープ理事、助産師

◆研修内容

- ・対応困難ケースの背景や支援に関する学習
（自分で育てられない妊娠の背景・制度・対応、若年妊娠の背景と対応）
- ・対応困難ケースについての事例検討（グループディスカッション） 等



- 日 時：平成30年3月8日（木） 10時00分～16時30分
- 会 場：奈良県文化会館 地下1階 多目的室（奈良市登大路町6-2 近鉄奈良駅から徒歩5分）
- 対象者：妊娠SOS相談対応パッケージ研修（基礎編）を修了した者
- 定 員：50名
- 参加料：無料
 - ・遅刻や早退がないようご注意ください。終了後は受講証をお渡し致します。
 - ・会場では駐車場は設けておりませんので、公共交通機関等をご利用ください。
 - ・昼食は各自でご用意ください。



申し込み・お問い合わせ

- 平成30年2月14日（水）までに、別紙申込書に記入し、下記のFAXまたはメールにて担当までお申し込みください。
- 奈良県健康福祉部こども・女性局こども家庭課 児童虐待対策係 担当：平野
電話：0742-27-8605 FAX：0742-27-8107
メールアドレス：hirano-masanori@office.pref.nara.lg.jp





全国妊娠 SOS ネットワーク

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

妊娠 SOS 相談対応パッケージ研修～基礎編～

虐待による子どもの死亡事例の多くに思いがけない妊娠があります。思いがけない妊娠の相談内容には、貧困や家庭崩壊による孤立、子どもの養育が不可能など、社会福祉・児童福祉の知識を要するものが多く、相談員は新たな知識や他職種、他機関との連携を必要とします。今回のセミナーでは、妊娠相談に関する基礎知識、子どもの福祉、社会資源について学びます。

～講師～

佐藤 拓代 (代表理事)	大阪府立病院機構大阪母子医療センター母子保健調査室長、医師
松岡 典子 (理事)	MC サポートセンターみくみえ代表、桜花学園大学保育学部非常勤講師、助産師
赤尾 さく美 (理事)	一般社団法人ベアホープ理事、助産師
西田 千香子	母子生活支援施設しらゆりハイツ 母子支援員

平成 29 年 7 月 23 日 (日) 9:30～16:30

大分市府内町 1 丁目 5-38
コンパルホール 400 会議室

- * 思いがけない妊娠に悩む女性への専門的対応、体制づくり
～妊娠相談の責務と質、妊娠 SOS～
- * 妊娠 SOS 相談の現状と傾向
- * 相談者の抱える背景と課題
- * 地域の連携機関から学ぶ女性の福祉
- * 育てられない女性と子どもの福祉

参加費 助産師会会員 3000 円 非会員 6000 円

🌸 昼食は各自でご用意ください

<お申込み先> 一般社団法人大分県助産師会

E-mail: oita-mw38@oasis.ocn.ne.jp

FAX: 097-534-0753

ご氏名、ご所属、職種、連絡先を明記し E-mail か FAX でお申込みください



一般社団法人 全国妊娠 SOS ネットワーク 妊娠 SOS 相談対応パッケージ研修のご案内



「妊娠 SOS 相談対応パッケージ研修」 ぜひ皆さまの地域で開催を！

全国妊娠 SOS ネットワークでは、思いがけない妊娠をして悩む女性と接する機会のある医療関係者、保健師、福祉職の方々を対象に、「妊娠 SOS 相談対応パッケージ研修」を全国で展開しています。

子どもの 0 日目の虐待死に至った背景には、望まない妊娠、未受診、母子健康手帳未発行という事実がある中、妊娠期からの歩み寄る支援は欠かせません。妊娠葛藤相談や産婦人科に携わる方のみでなく、子育て世代包括支援センターに関わる保健師の方々、児童福祉関係者にも推奨できる内容で、2016 年 9 月に厚生労働省からも本研修について、全国の児童家庭福祉と母子保健担当者に情報提供されました。

女性の複雑な背景や福祉的支援を学ぶ「基礎編」と、さらに課題別に深く学ぶ「アドバンス編」がありますが、まずは基礎編から研修開催のご依頼をいただきますようお願い申し上げます。

<基礎編の内容>

研修は 9：30 から 16：30 までです。

- ◆ 思いがけない妊娠に悩む女性への専門的対応／
相談員の質の向上
- ◆ 妊娠 SOS 相談の現状と傾向
(※または緊急出産について)
- ◆ 相談者の抱える背景と課題
： 貧困妊婦からの相談に必要な知識
- ◆ 女性の福祉の現場からみた貧困妊婦の支援
- ◆ 連携機関の役割と課題
： 地域の連携機関から学ぶ女性の福祉
- ◆ 育てられない女性と子どもの福祉

2016 年度の実績

合計 12 か所で実施

参加者総数 711 名!

- 福井県助産師会
- 千葉県
- 浜松市助産師会
- 広島県助産師会
- 新潟県助産師会
- 沖縄県助産師会
- 岡山県助産師会
- 宮崎県助産師会
- 和歌山県助産師会
- 山形県
- 三重県
- 浦安市

＜研修対象者＞

思いがけない妊娠をして悩んでいる女性と関わる機会のある助産師、保健師、看護師、医師、児童相談所職員、社会福祉士等です。主催側の会員や職員のみでなく、多職種へのお声がけをしていただいて50名以上集め、可能な限り地域での連携を作る機会としてください。※学生、一般の方は対象外です。

＜基礎編の講師＞

以下の全妊ネットの理事のうち3名と、地元の福祉関係者の4名です。

- ◆ 佐藤 拓代（大阪府立病院機構大阪母子医療センター母子保健調査室長、医師）
- ◆ 田尻 由貴子（スタディライフ熊本特別顧問、にんしんSOS東京顧問、助産師）
- ◆ 松岡 典子（MCサポートセンターみつくみえ代表、桜花学園大学保育学部非常勤講師、助産師）
- ◆ 赤尾 さく美（一般社団法人ベアホープ理事、助産師）

「妊娠相談の現場で役立つ！ 妊娠SOS相談対応ガイドブック」

～研修会にて販売・使用します～

【目次】

- 第1部 妊娠SOS相談の体制づくり
- 第2部 社会福祉の知識～「貧困妊婦」への対応～
- 第3部 事例から学ぶ対応

人工妊娠中絶、若年者、DV被害者、性暴力・性虐待の被害者、知的障害のある妊婦、性風俗従事者、不倫関係、緊急出産



研修開催情報はコチラから！ → <http://zenninnet-sos.org/>



＜研修開催についての問い合わせ先＞

一般社団法人 全国妊娠SOSネットワーク

住所：〒203-0014 東京都東久留米市東本町3-17-2F

E-mail: pregnancy.sosjapan@gmail.com

TEL: 090-9266-6278（事務局担当・赤尾）

全国妊娠SOSネットワーク(全妊ネット)

第3回 妊娠SOS相談員向けスキルアップ研修&社会見学ツアー

「ネット社会の歩み寄る相談窓口と妊娠につながる入口、 弁護士との連携による妊婦への支援」

「妊娠しちゃったけど相手は分からない・・・」「相手のことはよく知らない」といった相談を受けるとき、ネットやアプリでの出会いや性風俗の仕事の中での妊娠という背景を聞くことが多々あります。妊娠に至るきっかけとなっている入口を理解しつつ、妊娠世代に合う相談方法を学ぶことで、より早く歩み寄り、信頼関係を築き、確実に支援につなげることができるかもしれません。

また、思いがけない妊娠の背景には、家族関係が崩壊し親に頼れない、貧困の連鎖の中にあるという状況が重なり合っていることも少なくありません。その女性の生活の立て直しや自立支援に向け、弁護士との連携の可能性について知識を持っておくことも必要です。

今回のスキルアップ研修は、時代に合った相談対応のスキル向上のために、盛りだくさんでお届けします。

日時:2017年5月27日(土) 10:00～16:30 (9:30受付スタート)

場所:日本財団2階 会議室1～4 東京都港区赤坂1-2-2

内容:

- ◆にんしんSOS東京の実践・歩み寄りと同行支援 :中島かおり(にんしんSOS東京代表)
- ◆妊娠につながるアプリ・SNS等と相談対応 :藤尾諭史(NPOだいわピュアラブセーフティネット代表)
- ◆弁護士との連携による妊婦への支援 :森本志磨子(弁護士、NPO法人子どもセンターぬっく理事長)
- ◆事例検討

懇親会: @味仙 虎ノ門店 (懇親会費:3500円)

対象・定員:

医療・看護・保健・福祉分野の専門職の方で、妊娠して悩んでいる女性と関わる方
先着50名 ※一般の方、学生はご遠慮ください。

参加費: 全妊ネット個人会員3000円、非会員5000円

★各自で昼食をご持参ください。

★**会員限定・社会見学ツアー開催!**「母子生活支援施設 新宿区立かしわヴィレッジ」※参加無料

5月26日(金)15:00～16:30 申込みされた方には、待ち合わせについて別途お知らせします。

申し込み方法:申し込みフォームを記入の上送信。お振込確認順に登録させていただきます。

全妊ネット個人会員の先行予約期間 4月14日まで ※個人会員への申込と同時に先行予約できます。

2017年度の年会費3000円の納入がまだの方は、一緒にお振込ください。

個人会員を申し込まれない方は、4月15日からお申込みが可能です。



<振込先> ゆうちょ銀行
記号:10160 56503861
他金融機関からは 店名:018
普通 5650386
「全国妊娠SOSネットワーク」

<お問い合わせ先>
全国妊娠SOSネットワーク事務局
pregnancy.sosjapan@gmail.com

Supported by

THE NIPPON
FOUNDATION



一般社団法人 全国妊娠 SOS ネットワーク

第4回妊娠 SOS 相談員向けスキルアップ研修

【共催】浦安市 【助成】日本財団



今年最後の全妊ネット・相談員向けスキルアップ研修は、

「妊娠 SOS 相談対応パッケージ研修（アドバンス編）」を兼ねる濃厚企画です！

貧困女性の最後のセーフティネットとなってしまう性風俗の世界について、また、児童福祉法が改正され厚労省の「新しい社会的養育ビジョン」が出された今、必ず知っておきたい特別養子縁組について、しっかり知識を深めていただく W チャンスです。すでに会員になってくださっている方、パッケージ研修（基礎編）を受講された方は、地元でのアドバンス編を待たずに今回便乗していただけるよう先行予約つきです。

翌日から幕張メッセで開催される「日本子ども虐待防止学会第23回学術集会ちば大会」に合わせて、ぜひお早目にお申込みください。全国のみなさまと情報交換できる場として、懇親会へもお気軽にご参加いただければ幸いです。

なお、12月3日（日）のちば大会内で、全妊ネットのシンポジウムが行われます。そちらもぜひご参加ください。

2017年12月1日（金）13:00～17:00

（受付 12:30～・定員55名・参加費 3000 円）

会場：浦安市健康センター 第1会議室（浦安市猫実一丁目2番5号）

東京メトロ東西線浦安駅・JR 舞浜駅/バス6系統「市役所前」下車徒歩1分

東京メトロ東西線浦安駅・JR 新浦安駅/おさんぽバス医療センター線「健康センター・郷土博物館」下車徒歩1分

JR 新浦安駅/おさんぽバス舞浜線「市役所・健康センター」下車徒歩2分 ※公共交通機関をご利用ください

対象：パッケージ研修基礎編を受講した方、全妊ネットの会員の方は9月30日まで先行予約 OK！

その他の妊娠して悩んでいる女性と関わる医療・看護・保健・福祉分野の専門職または自治体関係者の方は10月1日からお申込みいただけます。（※一般の方、学生はご遠慮ください。）

内容

- ①妊婦母乳風俗店の現場から考える支援の現状と課題 一般社団法人ホワイトハンズ 坂爪真吾
- ②歩み寄る妊娠相談と特別養子縁組 一般社団法人ベアホープ ロング朋子
- ③事例検討

<18:00～懇親会 @四季菜々 新浦安店 お一人様 3500 円>

連絡先：一般社団法人 全国妊娠 SOS ネットワーク事務局

E-mail: pregnancy.sosyamaguchi@gmail.com（山口）

申込方法：全国妊娠 SOS ネットワークホームページの「相談員さん向け情報」→「全妊ネットの研修情報」にある申込フォームから送信してください。http://zenninnet-sos.org/

※申込フォームが使えない方は、事務局のメールアドレスまで、「氏名、職種、所属」を書いてお送りください。また、定員に達し次第、申し込みを締め切らせていただきます。

妊娠 SOS 相談対応パッケージ研修(基礎編)

虐待による子どもの死亡事例のリスクとして、思いがけない妊娠があります。

思いがけない妊娠の相談対応では、貧困や家庭崩壊による孤立、子どもの養育ができないなど、社会福祉や児童福祉制度など幅広い知識や他機関との連携が必要となります。

研修会では、思いがけない妊娠に悩む方への相談対応のスキル、相談者の抱える背景・課題、支援に活用できる福祉制度について学びます。

講師 (全国妊娠 SOS ネットワーク理事)

佐藤 拓代氏 全妊ネット代表理事、大阪府立病院機構大阪母子医療センター母子保健調整室長、医師

松岡 典子氏 MCサポートセンターみっくみえ代表、桜花学園大学保育学部非常勤講師、助産師

赤尾 さく美氏 一般社団法人ベアホープ理事、助産師

田中 恵子氏 (外部講師) 母子生活支援施設倉明園 施設長補佐・心理療法担当職員

内容

- ・思いがけない妊娠に悩む女性への専門的対応・相談員の質の向上
- ・妊娠 SOS 相談の現状と傾向
- ・相談者の抱える背景と課題
- ・地域の連携機関から学ぶ女性の福祉
- ・育てられない女性と子どもの福祉



日時 平成29年10月28日(土) 9:30~16:30 (受付9:10~)

会場 倉吉市上灘公民館(倉吉市上灘町9-1)

対象者 妊娠に関する相談従事者(保健師、助産師、社会福祉士など) 約150名

受講料 無料

その他

- ・遅刻、早退がありませんようご注意ください。終了後は受講証をお渡しします。
- ・駐車場は限りがありますので、なるべく乗りあわせでご参加ください。
- ・昼食は各自ご準備ください。

申し込み・お問い合わせ

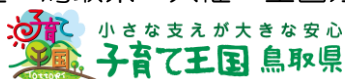
平成29年9月29日(金)までに申込書に記入し、FAX・郵送にて申し込みください。

(担当) 鳥取県子育て王国推進局 子育て応援課 母子保健担当

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220番地

TEL: 0857-26-7572 FAX: 0857-26-7863

主催: 鳥取県 共催: 全国妊娠 SOS ネットワーク 助成: 日本財団



Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

【送付先】 鳥取県子育て王国推進局 子育て応援課 母子保健担当 あて
〒680-8570 鳥取市東町一丁目220番地
FAX：0857-26-7863

【締め切り】平成29年9月29日（金）

妊娠 SOS 相談対応パッケージ研修(基礎編) 申込書

所 属： _____

電話番号： _____

担当者名： _____

【参加者】

所 属	職 種	氏 名

※個人情報については、研修会のみを使用します



(一社) 埼玉県助産師会主催、全妊ネット共催
全国妊娠 SOS ネットワーク



妊娠 SOS 相談対応パッケージ研修：基礎編

思いがけない妊娠をして悩む女性を確実に支援につなぎ、女性に希望を与えるとともに、子どもの虐待死や長期施設養育を防ぐための一助となるよう、社会福祉分野の知識や様々な社会資源の情報をもつことを目的に研修会を開催いたします。ぜひ、ご参加をお待ちしております。

【日時】平成 29 年 10 月 14 日 (土) 9:30~17:00 (受付 9:00~)

【会場】さいたま共済会館 602 号会議室 (JR「浦和」駅より西口徒歩 10 分)
さいたま市浦和区岸町 7-5-14 TEL048-822-3330

【参加費】助産師会会員 3,200 円 非会員 4,700 円

*研修では妊娠 SOS 相談対応ガイドブックを使用します。(2017 年 3 月 1 日改訂版です)
お持ちでない方は、テキスト代別途 1,000 円必要になります。

【講師】

佐藤拓代 (大阪府立病院機構大阪母子医療センター母子保健調査室長、医師)

松岡典子 (MC サポートセンターみっくみえ代表、桜花学園大学保育学部非常勤講師、助産師)

赤尾さく美 (一般社団法人ベアホープ理事、助産師)

梅山里香 (母子生活支援施設 むつみ荘 基幹的職員)

【内容】

- ① 思いがけない妊娠に悩む女性への専門的対応と体制づくり：妊娠相談の責務と質、妊娠 SOS の現状
- ② 相談する女性の抱える背景と課題、支援
- ③ 子どもの福祉：特別養子縁組と里親制度
- ④ 母子生活支援施設と役割の可能性

【定員】60 名

【申し込み方法】

- ① はがきの場合 330-0061 さいたま市浦和区常盤 2-9-18 埼玉県助産師会事務所宛
往復はがきに氏名・会員 (地区名) または非会員・住所・当日連絡のつく電話番号、研修名、参加希望と記載してください。
- ② Gmail 場合、氏名、会員 (地区名) または非会員・研修名、電話番号を記入してください。
アドレス：mw.kensyuukai@gmail.com

* **申し込み〆切：平成 29 年 10 月 9 日**

【お問い合わせ】

Gmail 又は FAX048-799-3614「教育委員会企画研修会担当者宛」へお願い致します。

* 予定の研修会が災害 (暴風雨・地震) 等で開催が中止の場合は、助産師会の HP でお知らせします。 埼玉県助産師会 HP アドレス <http://mw-saitama.com/>

【その他】昼食は各自でご用意下さい。会場は飲食可です。